



写真提供／鯉が窪美写者会 守下 弘二

NPO 通信

「きらめき広場・哲西」  
注目を集める！

きらめき広場・哲西は、市支局、診療所、保健福祉センター、図書館、文化ホール、生涯学習センターが「屋根の下」にまとまり、市民が集い交流する場としてまちづくりの拠点機能を果たしていることに、あらためて関心が集まっています。

「きらめき広場・哲西」は満7歳、合併で少し寂しくなったといわれていますがそれでも昨年度、延べ50、272人の市民が利用しています。

荒っぽい計算ながら哲西地域の全員が1年に16・4回利用したことになります。

この回数には、支局にきた人・図書館で本や新聞を閲覧するだけの人・ATM利用者などはカウントされていないので実数はまだ多いと考えられます。

住民ニーズを取り込み一体化した公共施設機能、隣接する道の駅との連携機能、市内バス等の交通結節点機能を備えた拠点性と、その利点を活かした柔軟なサービスや市民レベルでの活用など、これまでのきらめき広場の取組みは中山間地域の「モデル」とまで評されています。

真のモデルになれるよう、市民みんなが「きらめき広場」に集い合い、みんなの知恵と力で元気な地域づくりに努めていきたいものです。

どれも  
楽しかったよ！

図書館まつり 11/8

きらりら  
子育てサロンの  
手遊び

213  
Hula Apoの  
フラダンス

ゲンコツのお鼻♪

山の子会  
(東城)の  
パネル  
シアター

ワクワク  
どこにあるのかな??

宝さがし

ファイブ  
ラインの  
オカリナの  
演奏

美しい音色に癒されました

## 阿哲商工会共通商品券「まんさく券」で、 社会貢献事業をスタート

阿哲商工会は、共通商品券「まんさく券」の流通を利用して、社会貢献事業を10月1日から始めました。

現在の社会状況、特に過疎化や少子高齢化は地域社会に大きなダメージを与えます。このことが地域社会に与える重大さを訴え、地域振興の役割を担う商工会は子育て支援などを通して、地域に貢献することが使命だと考えています。

商品券が地域に流通するほど、地域の社会福祉が充実する仕組みを地域の事業者の協力の下、社会貢献事業としてスタートしました。

これは、商品券加盟店が商品券を商工会で換金する際に額面の2% (500円商品券1枚につき10円) を社会貢献事業のために積み立て、毎年1回商工会が選定した子育て支援などを担っている団体へその積立金を助成し支援を行います。

なお、阿哲商工会共通商品券「まんさく券」は阿哲商工会本部・各支所 (大佐・哲多・哲西) で取り扱っていますので、ご贈答 (お歳暮・内祝い・各種行事の賞品等) として幅広くご利用ください。

タウ情報 Tessei Information

## ●ご寄付ありがとうございました (敬称略)

■一般寄付  
○廣野 薫 大野部  
野馳小学校の児童全員へ  
交通安全のお守り

## きらめき クリスマスコンサート

日時 12月14日 (日)  
13:00~  
場所 きらめき広場・哲西  
文化ホール  
出演者一同、皆様のお越しを  
心よりお待ちしております。

問合せ先

NPOきらめき広場 事務局 〒719-3701岡山県新見市哲西町矢田3604  
TEL(0867)94-2143 or 090-8994-7068 FAX(0867)94-2100  
HP: <http://www.npo-kirameki.jp/> E-mail: [post@npo-kirameki.jp](mailto:post@npo-kirameki.jp)



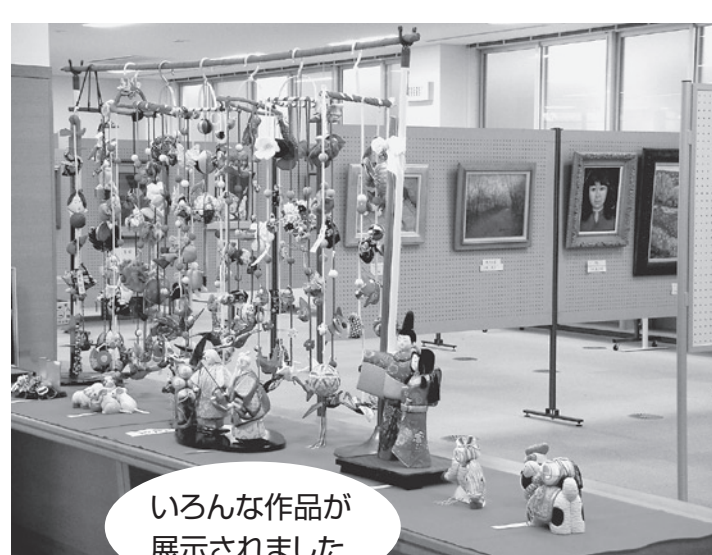


## ここはふるさと 旅するラジオ80(はちまる)ちゃん号

11/11 全国生放送!元氣な哲西町をアピール!  
NHKラジオ第1にて毎週月曜(金曜の午後0時20分に、全国の市町村を紹介する番組『ここはふるさと 旅するラジオ 80ちゃん号』が、きらめき広場・哲西を訪れました。

この日の司会は森下和哉アナウンサーと、ふるさとサポーターに岡山放送局の内藤雄介アナウンサーが出演し番組を盛り上げました。オープンスタジオ移動中継車から、NPOきらめき広場の奥津理事長がNPOの取り組みと元氣な哲西町をアピールし、哲西町診療所の佐藤医師が地域包括ケアについて、新見市PTA連合会哲西支部会長の安達さんが哲西地域安全会の活動について、こめ工房の児山さんが美味しい米粉パンについて、新見高等学校生物生産科の皆さんが鯉が産保護のための取り組みについて、それぞれの活動を力強い言葉で全国に向けて発信しました。

放送後、市内外からの好反響も多数寄せられ、情報発信の大切さを感じています。



いろんな作品が  
展示されました



皆さん作品に  
魅入っておられました



## 哲西町文化祭



### 第24回哲西町文化祭

11月8、9日、きらめき広場・哲西で第24回哲西文化祭が開催されました。

両日、文化ホール周辺と旧市民福祉課のスペースには、文化協会員や公民館講座ときらめき子ども教室の受講生らの力作が展示され、9日には文化ホールで芸能部の芸能発表会が行われ来場者を魅了しました。



### 平成20年度日本赤十字社岡山県支部 赤十字奉仕団地区別研修会 (備北ブロック)

11月13日、きらめき広場・哲西 文化ホールで赤十字奉仕団の研修会がで開催されました。

この日は、山田宗志氏(岡山県支部・事務局長)が「赤十字と地域づくり」と題して講演され、赤十字のおこりや地域づくりの参考になる実例などを地図や写真を使って分かりやすく説明されました。講演の最後には心に響く素敵な歌声とギター演奏を会場に響かせ参加者を魅了しました。

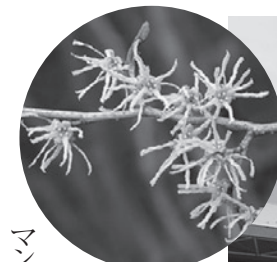
午後からは、江里美代子さん(岡山県支部・参事)と藤田清美さん(家庭看護法指導員)の指導で「車いすでの移動について」と題しての演習も行われ、参加者は熱心に取り組む、実りある研修会になりました。

**赤十字奉仕団って?**  
赤十字奉仕団(赤十字ボランティア)は市町村の地域ごとに組織された地域赤十字奉仕団(社会人や学生による青年赤十字奉仕団、様々な専門分野を持つ特殊赤十字奉仕団で組織されている。赤十字奉仕団の活動項目の中で「地域安全活動」「高齢者支援」「社会増強に関する活動」を重点強化項目とし、参加型地域福祉社会の実現のため赤十字奉仕団への支援を進める。  
(平成20年度事業計画書)

### アテツ マンサク植樹

アテツマンサクは植物分類学者の故牧野富太郎が阿哲地方の山中で発見されたことから命名されました。黄色いリボン状の花びらを付け、春を真っ先に告げます。

開花は、まだまだ先になりそうですが、地域の皆さんと一緒に守り育てて行きましょう。



市議会議員らが11月10日、きらめき広場・哲西の国道側入口へ新見市のシンボルであるアテツマンサクの植樹を行いました。







とっても  
美味しかったよ!

## たんぽぽクラブ

11/1 カレースープ作りをしました。  
11/9 リンゴ狩りに行きました。



安全パトロールに出発する会員

哲西地域安全会  
受賞おめでとうございます。

10/20

## 新見、高梁署管内安全・安心 まちづくり推進協議会から表彰状

哲西地域安全会は、地域安全のため熱心に取り組んでいる活動が認められ受賞されました。

パトロール車活動状況

《平成19年7月～平成20年10月》

- 走行距離 14,323km
- 活動人数 733人
- 活動回数 423回



## たんぽぽクラブに参加しませんか

子育ての仲間づくりや情報交換の場になっています

- ◎行事によっては、実施日時、場所を変更する場合があります。
- ◎出欠の確認は行いません。自由にご参加ください。
- ◎直接開催場所へお越しください。

- ◎たんぽぽクラブの入会は、哲西地域に住所がある就学前のお子様を対象です。
- ◎問合せ先 新見市哲西支局市民福祉課TEL94-2112



## Tessei Medical Topics

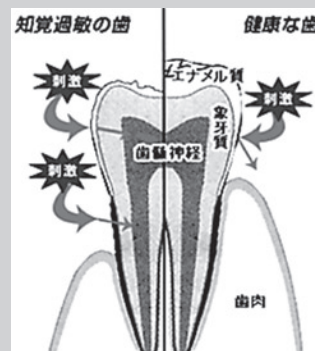


歯科

内藤医師のお話  
知覚過敏について



次回、知覚過敏がおこる原因・対処法についてお話ししたいと思います。



知覚過敏の歯は、象牙質が露出している状態です。虫歯でなくとも、象牙質が直接刺激にさらされる状態になれば、歯はしみを感じます。これが知覚過敏です。

歯がしみておいく食事ができないのはつらいことですね。放って置くと症状がひどくなる場合がありますので、気が付いたら一度歯科医院でみてもらいましょう。

冷たい飲み物を飲んだり、歯をみがくとき、歯肉が下がったり、無理な力での歯みがき方法などによって歯が削れてしまうと、冷たいものや熱いものを口に含んだ時や歯みがきの時の刺激が歯の神経に伝わって、しみるような過性の痛みを感じます。これを知覚過敏といいます。

歯の表面の硬いエナメル質の層の下には象牙質があります。象牙質の中には、象牙細管という細かい管が、歯の神経（歯髄）に向かって通っています。間違った方法での歯みがき方法、歯ぎしり、歯周病などによって象牙細管が露出すると、外からの刺激はこの管を通じて歯の神経に伝わり、神経はそれらの刺激を痛みとして脳に伝えます。虫歯でなくとも、象牙質が直接刺激にさらされる状態になれば、歯はしみを感じます。これが知覚過敏です。

## 太田ふれあい教室 新見市介護予防 交流会で熱演《新見市主催》

太田ふれあい教室は10月29日、まなび広場にいで行われた「新見市介護予防交流会」に参加して昔話の「こぶとりじいさん」を演じました。また、この日の作品展には、小皿に花を焼き付けた作品を展示し、参加者の目を楽しませました。

## カムシロ ファーム すいおう 翠玉のイモ掘り

11月11日、上神代の塚本さんの畑でさつまいもの新品種「すいおう」のイモ掘りが行われました。カムシロファームは塚本夫妻が中心となって、地域おこしや情報発信に一役かえればと、楽しんで農業に取り組んでいるグループです。

今年、すいおうの葉と茎は（社）岡山県農業開発研究所（地域食品開発班）へ出荷され、佃煮とお茶に加工販売されています。すいおうは、ポリフェノール含量が多く抗酸化能が強い食材として注目されています。



# 図書館 だより

新見市立哲西図書館  
TEL94-2110 FAX94-2100

休館日のお知らせ  
**年中無休です**  
[年末年始、蔵書点検日を除く]

哲西図書館利用者のための  
乳幼児一時預かり

毎月第1・第3月曜日10:00～12:00  
きらめき広場・哲西プレイルーム

## 子ども映画会

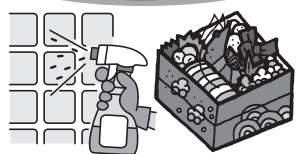
日時 12月13日(土)14:00～  
場所 きらめき広場・哲西  
ブラウジングコーナー  
内容 DVD「ななみちゃん6」



## おはなし会

日時 12月20日(土)14:00～  
場所 哲西図書館 児童コーナー  
内容 ボランティアの方による絵本の読み聞かせ

## 今月の展示本



◎展示コーナー  
〈年末・年始に役立つ本〉  
大掃除やおせち料理など  
年末年始に役立つ  
本を展示しています。

## ◎児童コーナー〈クリスマス〉

クリスマスの楽しい絵本を  
展示しています。



哲西荘のみなさんが、  
掲示してくださいました。  
いつもありがとうございます!

## 先月の展示



図書館まつり  
の様子はP8へ



今年は、きらめき広場・哲西  
文化ホールで行いました。  
大きな舞台上、たくさんの観客の中  
すばらしい発表ができました。



発表会  
きいん組

幼児  
学園



今年も盛大に収穫祭を行いました。  
全体で140名を超える人でした。  
4月から学校全体やそれぞれの学年  
で老人クラブや地域の方々にお世話に  
なってきました。児童だけでは招待や  
接待ができないので、愛育会役員の方  
々にもお手伝いをしていただきました。  
この日までに、1・2年生は芋を掘  
ったり洗ったり、3・4年生は野菜の収  
穫をしたりしました。また、5・6年  
生は会場準備等それぞれの役割を果た  
しました。会場には、それぞれの学年  
の収穫祭までの活動の様子が分かるよ  
うな掲示も、当日を迎えました。  
当日はさわやかな天気となり、3年  
生以上の児童はもち係、かまど係、雑  
煮汁係、芋係、接待係に分かれ、張り  
切って活動しました。最後は、体育  
館で隣同士楽しい会話をしながら全員  
で雑煮を食べました。会食の途中には、  
6年生が調べ学習の内容をパソコンを  
使って参加者に紹介しました。  
充実した収穫祭になりました。



矢神  
小学校

収穫祭

服しながら、一生懸命案内してくれた学  
園の児童に感謝しながら、手をつない  
だり、車いすを押したりしながら図書  
館、そしてとても長い廊下を通って体  
育館、食堂へと進みながら会話ははず  
み、だんだんと仲良しく慣れたようです。  
施設内の様子がわかったところで、運  
動場へ出て、遊具等を使って楽しく交  
流しました。お互いに名前を覚え、リラ  
ックスしてしゃべりとお話が出来よう  
になりました。あつという間に時間が  
過ぎ、帰りの会となりました。もう少  
し一緒に交流したいという思いがお互い  
にわき、理解し合えたことはとても良  
かったと思います。また、健康の森学  
園の児童からもらった元気を学校生活  
にも生かそうとしている姿が日々見え  
ます。それぞれの思いを作文にした児  
童のがんばりに期待します。

一昨年度から野馳小学校では、健康  
の森学園との交流を実施しています。  
今年度は、4回実施します。先月10月  
31日(金)には、以前から実施したい  
と考えていた学園へ出かけての交流授  
業が実現しました。3年生9名が哲多  
地域のスクールバスを利用して出かけ  
ました。途中運転手さんから地域学習  
にもなる楽しい説明を受けながら学園  
に到着しました。  
児童は、施設・設備の規模にびつ  
つとした様子でしたが、学園の小学部の  
児童の出迎えを受け、少し落ち着きま  
した。事前学習でスキルを身に付けて  
いた児童も最初はとまどうた様子でし  
たが、すぐ慣れて自然体で自己紹介や  
ゲームをこなし、班に分かれて施設内  
の見学等を行いました。ハンディーを克  
に到着しました。



健康の森学園との交流授業

野馳  
小学校

足は地に、  
目は遠くを!

哲西  
中学校

去る11月7日、国際理解教育の  
一環学習として、丸山尚人(国際  
貢献大学校 救済室長)さんと安  
部文博(倉敷市水道局に勤務、中  
央アフリカ東部タンザニアに海外  
青年協力隊員として水道事業で2  
年間参加)さんのお二人を講師に  
招聘し講演会を持ちました。丸山  
さんは国際貢献大学校のあらまし  
を紹介され、その後ナイジェリア  
での救援活動の体験を元に表題の  
言葉や国際貢献の視点についての  
話をしてくださいました。そして、  
安部さんは、蛇口をひねっても一  
滴も水が出ないタンザニアの現状  
に触れられ、「日本で身近にできる  
こと」として  
●ものを大切にすること  
●コミュニケーション能力を磨く  
こと  
●物事を身近に感じるこ  
等、生徒たちにわかりやすく話を  
して下さいました。「水が出ると  
数々の感染症が減り、女の子は水  
汲みに行く時間が減り学校に行け  
る。勉強ができる環境下にある皆  
さんは何事においても努力をし、  
国内で役に立つ人間になって欲し  
い。」と結ばれ、貴重な体験話に身  
の引き締まる思いがしました。

